

問いトレ



「書籍版」令和4年11月発行 (予定)

「デジタル版」来春発行 (予定)
(Windows/Chromebook/iPad 対応)

ご採用校には
指導用資料
(PDF データ)
をご用意します

コード	教材名	判型	頁数	本体	定価
35596	課題探究へのアプローチ問いづくりトレーニング	A4	108	900 円	990 円



東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1 Tel:03-5390-7320 (高校教育部)
 支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581
 名古屋 052-939-2722 大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536
 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084

ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

本カタログの税込価格は2022年10月時点の消費税(10%)を加えた金額です。
本カタログに記載されている内容及び製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

POINT

「総合的な探究の時間」
に最適!!
「問い」をつくる練習に
誰でも取り組める
テキストです。

課題探究へのアプローチ

問いづくり トレーニング

ダイジェスト版

東京書籍

ご審査用見本本をご希望の際は、
弊社営業担当までお申し付けください。

「探究につながる問い」 を求めて

本書のご案内

「総合的な探究の時間」は、生徒が主体的に問いを設定し、情報を集め、整理・分析を進め、まとめ・表現することを目的としています。

本書は課題探究を進めるにあたり、最も大切な「探究につながる問い」をつくるトレーニング型のテキストです。

本書の構成

本書は5つの UNIT で構成しています。協働学習ができるように「チェックリスト」や「ルーブリック」を準備しています。本書を通して、生徒の皆さんがこれからの社会を生き抜くための資質、能力を身につける一助となることを願っています。



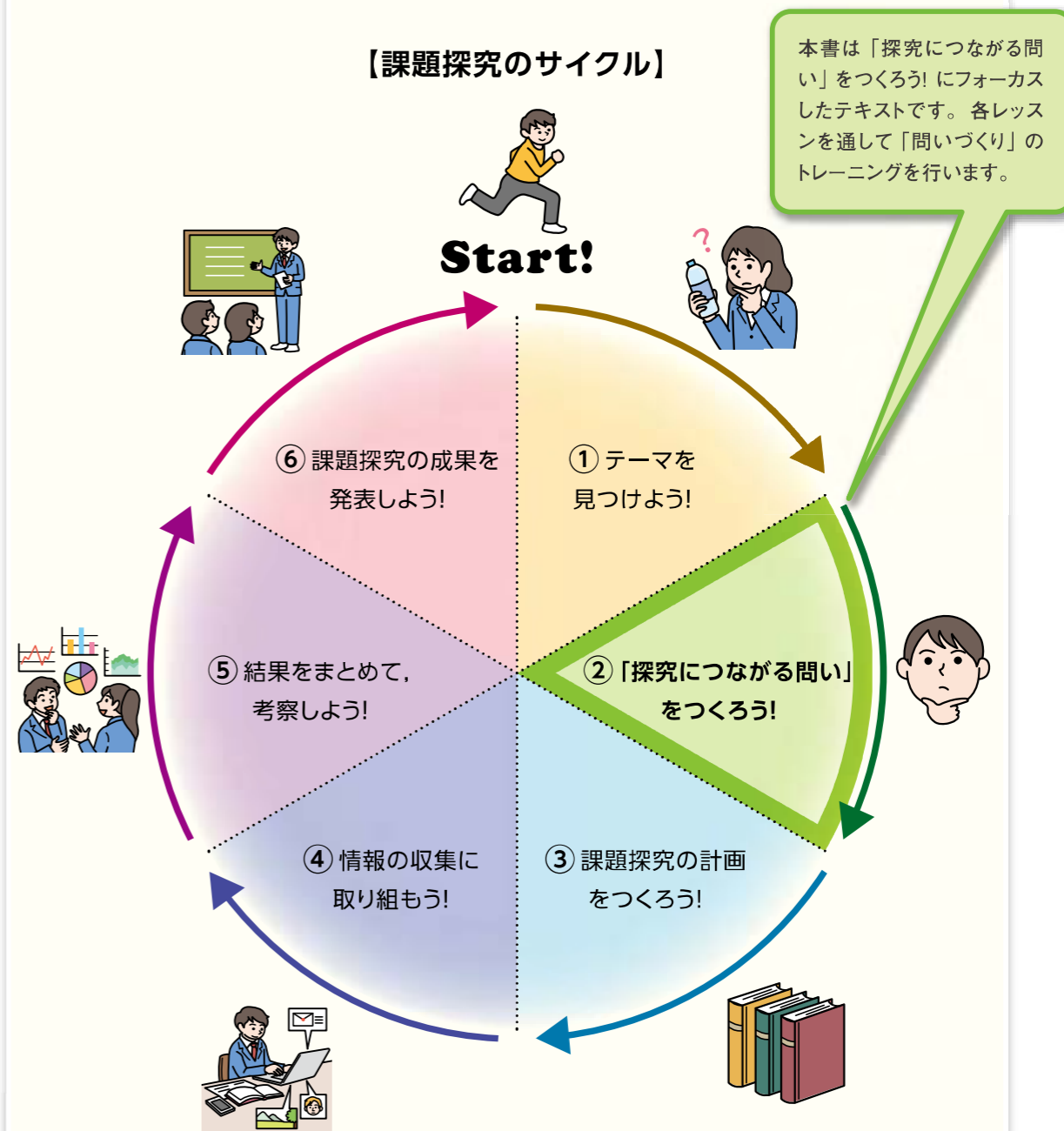
ぼくと一緒に
課題探究の世界を
探検しよう！

せかいぬ

世界の課題や問題をかぎつけて発見するのが得意。好奇心旺盛で、様々なことにチャレンジすることが大好き。

● 課題探究の進め方

課題探究は、下図に示すように6つのステップから構成されています。本書では“②「探究につながる問い」をつくらう！”に焦点をあてて、みなさんに取り組んでもらいます。課題探究を進めるには常にこのサイクルを意識し、次にどのようなことを行うかを考えながら進めることが大切です。また、このサイクルを何度も繰り返すことによって、より良い課題探究となっていきます。



本書の使い方

本書は、課題探究において最も重要であると考えられる「探究につながる問い」の作り方を学ぶテキストです。それぞれのUNITでは異なる社会課題をテーマとして扱っています。UNIT全体を通して **テーマを見つける** **情報を集める** **情報を整理する** ことを行い、最終的に **「探究につながる問い」をつくる** ことができるように構成されています。

【各UNITの構成】

テーマを見つける

● UNIT扉「社会課題を知る」

各扉には、世界が抱えている課題の写真が掲載されています。それぞれの写真が“どの地域”で起こっている“どのような社会課題”か考えてみましょう。

● Lesson1「社会課題を理解する」

各UNITのテーマとなる課題について現状を理解するためのLessonです。地図やグラフを通してデータを読む力をつけましょう。

Lesson 1

下の資料と文章をもとに、Q1～Q4を考えてみよう。

Q1 ①と②をもとに、次の文中の [] の中から適当なものを選び、○をつけてみよう。
 1900年から2000年の間に、世界の平均気温は [ア、約0.3℃ イ、約0.8℃ ウ、約1.0℃] 上昇し、世界の平均海面水位は [ア、約14mm イ、約14cm ウ、約14m] 上昇している。

Q2 世界の平均気温と平均海面水位が上昇している理由について説明した次の文中の [X] と [Y] に当てはまる語を書きこめよう。また、[Z] に当てはまる物質を化学式で書いてみよう。
 世界の平均気温が上昇している原因は [X] と呼ばれ、大気中にあり [Y] が原因とされている。二酸化炭素 [Z] は代表物質 [] ガスである。
 X: Y: Z:

Q3 1980年から2000年の間の海面上昇が約10cmである場合、これと同じ割合で世界の平均海面水位が上昇すると仮定したとき、2100年には2000年と比較して、どのくらい海面水位が上昇すると考えられますか。最も適当な数字を、次のア～エから選んでみよう。
 ア、約2cm イ、約50cm ウ、約90cm エ、約2m

Q4 地球温暖化によって私たちの生活はどのような影響を受けるのか、考えてみよう。
 [自分の意見]
 [他の人の意見]

情報を集める

● Lesson2

「探究につながる問い」をつくるために必要なこれまでの知見や、異なる視点の情報を提供します。自分が興味をもったPartに取り組んでみましょう。

Lesson 2

Part 1 地球温暖化のこれから

Part 2 地球温暖化と健康

Part 3 地球温暖化と水

Part 4 私たちのアクション

情報を整理する

「探究につながる問い」をつくる

● Lesson3

Lesson1～Lesson3を通して、「探究につながる問い」をつくっていきましょう。チェックリストやルーブリックを通して、「探究につながる問い」になっているか確認しましょう。

Lesson 3

探究につながる問いをつくるためのチェックリストとルーブリック。

チェックリスト

項目	達成している	達成していない
1. 探究につながる問いを明確にしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 探究につながる問いが、社会課題と関連している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 探究につながる問いが、自分自身に関心がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 探究につながる問いが、解決策を導き出すことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ルーブリック

項目	評価
1. 探究につながる問いの明確さ	◎ (優)
2. 探究につながる問いの社会課題との関連性	◎ (優)
3. 探究につながる問いの自分自身への関心	◎ (優)
4. 探究につながる問いの解決策の導き出しやすさ	◎ (優)

インターネット技術の使い方

インターネット技術の使い方に関する説明と、検索エンジンやデータベースの活用方法。

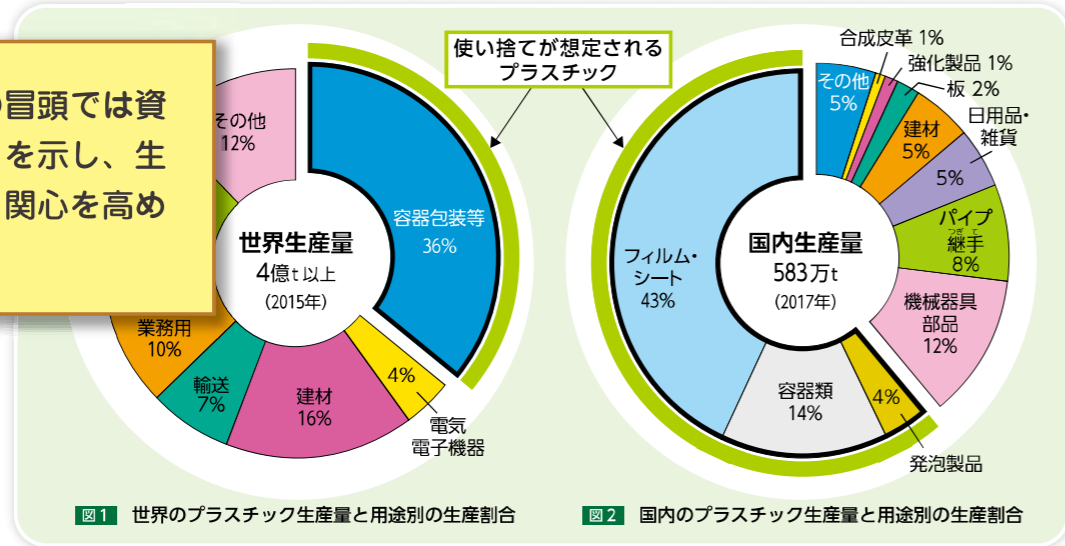
「社会課題を理解する」

Lesson 1

◆下の資料と文章をもとに、Q1～Q5を考えてみよう。

POINT

各 UNIT の冒頭では資料やデータを示し、生徒の興味・関心を高めます。



出典：WWFジャパンウェブサイト (https://www.wwf.or.jp)

私たちは豊かな暮らしのために生産と消費の拡大を続けてきました。生産と消費の拡大によって、資源の枯渇や廃棄物による環境汚染が引き起こされています。これからも地球と共存し続けるためには、生産者はもちろん、消費者である私たちも行動を変えていく必要があります。

消費者である私たちの行動を変える例として、プラスチック製品の使用削減が挙げられます。プラスチックは手軽で耐久性に優れ、安価に生産できることから、ビニール袋や発泡スチロールの包装などに幅広く使われています。一方、このままのペースでプラスチックを使用し続けると、原料である石油の枯渇を早める可能性があります。また、利用されたプラスチックが適切に処理されず、自然環境に流出してしまう例も少なくありません。

プラスチックの使用削減のために、レジ袋の有料化やリサイクルの仕組みの構築など、さまざまな取り組みが進められています。



図3 レジ袋有料義務化のスタートを伝えるパネル



図4 紙ストロー

UNITのテーマと課題を理解します。

学習した日

POINT

Lesson 1 の右ページは、左ページの資料やデータをもとに「問い Q」を配置しています。「教師用指導資料」も準備しています。(P.18参照)

Q1 図1 と 図2 についてまとめてみよう。

図1年における.....t以上の用途別

図2年における.....tの用途別の生

Q2 図1 をもとに、世界では年間およそ何 t のプラスチックが「容器包装等」として生産されているのか、世界生産量を4億 t として計算してみよう。

.....億万 t

Q3 図2 をもとに、日本国内で「使い捨てが想定される」プラスチックは年間何 t 生産されているのか、計算してみよう。

.....万t

Q4 身の回りのプラスチックでできたものを書き出してみよう。

学校や家にはどんなものがあるのかな？



Q5 消費者としてプラスチックの使い捨てを減らすために、どのような取り組みができるのか、考えてみよう。

【自分の意見】

【他の人の意見】

やってみよう! 「思考ツール」を増やすことができます。

やってみよう! 思考ツール ① 9マスブロック

巻末p.103にフォーマットシートがあります。

■ 9マスブロック

9マスブロックとは考えたいテーマ・内容について関連する8つの言葉を書き出し、マスに埋めていくときに、頭の中で整理できません。まずは、できるだけ知っている言葉をマスに書き出すこと

例

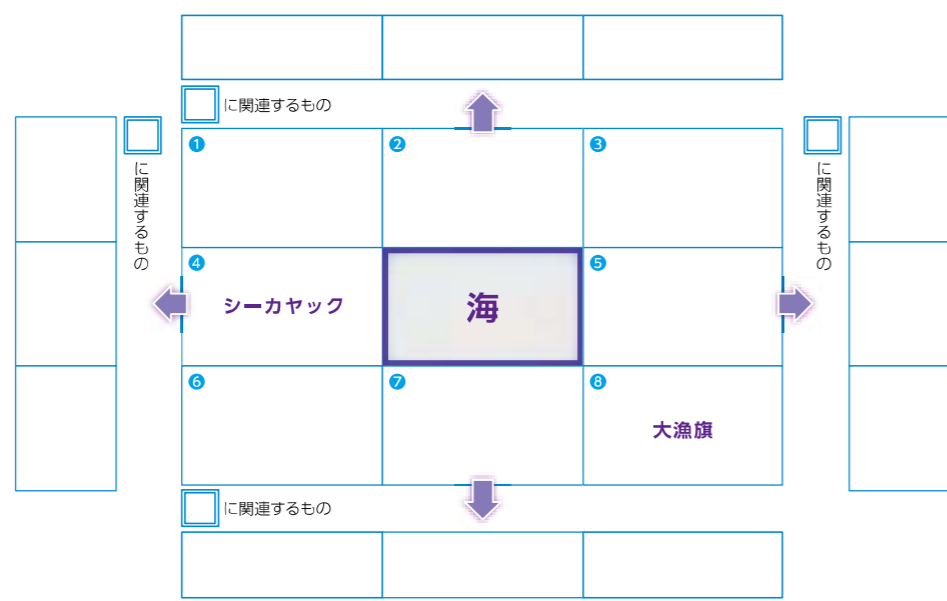
チョコレート	もなか	大量生産
休憩	お菓子	アイスクリーム
虫歯	クッキー	ダイエット

POINT

5種類の情報整理手法(9マスブロック、マッピング、ベン図、座標軸、ブレインストーミング・グルーピング)を体験的に学びます。

- ① 真ん中のマスに考えたいテーマ・キーワードを記入する。
- ② 中央のマスに記入したものの周囲にある8つのマスに、連想されるもの(事柄)を書き出す。
(まずは、思いついたことを8つのマスに埋めてみるのが大切です。)
- ③ 全てのマスが埋めたら、記入した①～②の8つのもの(事柄)の中から興味のあるものを選び、中央のマスに選んだ番号を記入する。矢印の先の3枠には、選んだものについて関連するもの・知っていること・特徴・キーワードなどを記入する。
(8つのマス全てが埋まらなかった場合には、本やインターネットを用いて情報を収集してみましょう。)

★「海」を例に空欄部分を埋めてみよう



情報を集める

4つの Part から興味のあるテーマに取り組みます。

Lesson 2

◆ Part①～Part④を通して、環境問題について考えてみよう。

POINT

Lesson2では、4つのテーマの中から生徒が興味関心のあるテーマを選んで学ぶことができます。授業計画に応じて、全てのテーマを学ぶことも可能です。

Part①

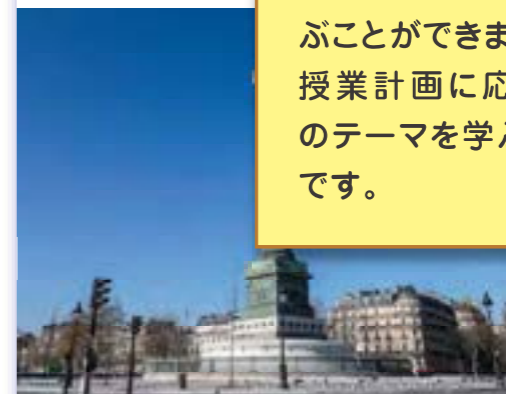
地球温暖化のこれから



地球温暖化は、さまざまな生物に影響を及ぼしています。今後も気温が上昇した場合、地球上の生物にどのような影響があるのか、考えてみましょう。

Part②

環境変化と歴史



私たち人間の活動は自然環境に大きな影響を与えています。一方で、自然環境の変化は、私たちの歴史にどのような影響を与えたのか、考えてみましょう。

Part③

ICT(情報通信技術)が環境を変える



環境問題を解決するために、ICT(情報通信技術)の活用が進んでいます。スペインのバルセロナ市を例に、都市が抱える環境問題とその解決方法を考えてみましょう。

Part④

私たちのアクション



世界には環境問題を解決するためにさまざまな行動(アクション)を起こしている人たちがいます。地球の一市民として私たちはどのような行動を起こせるのか、考えてみましょう。

Lesson2 では「情報収集と分

析の手法」が学べます。

Part ① 文学に描かれる河川

◆日本の河川の水質はどのように変化してきたのか、考え



図1 X (1892~1927)

POINT

「他教科との関連」や「教科横断的な視点」から、生徒が興味・関心をもって学ぶことができます。

川の水 (一九一四)
分は幾度となく、青い水に臨
アカシアが、初夏のやわらか
にふかれて、ほろほると白い
落すのを見た。自分は幾度と
霧の多い十一月の夜に、暗
の空を寒むそうに鳴く、千鳥
を聞いた。自分の見、自分の
聞くすべてのものは、ことごとく、
大川に対する自分の愛を新たにす
る。ちやうど、夏川の水から生ま
れる黒蜻蛉の羽のような、おの
きやすい少年の心は、そのたびに
新たな驚異の眸を見はらずにはい
られないのである。

上の文章は、『羅生門』『鼻』『蜘蛛の糸』などの作品で有名な文豪 X (図1) が書いた随筆『大川の水』の一部です。ここでは、X が幼少期を過ごした東京市本所区小泉町(現在の東京都墨田区両国)で、大川(現在の隅田川)の風景とともにあった日々を思い返す様子が描かれています。

『大川の水』の中で美しい自然が描かれているように、明治・大正時代の隅田川は美しい川でした。しかし昭和時代に入ると隅田川のはしらは徐々に失われていきます(図2)。時代の変化に伴って、工場排水や生活排水による河川の汚染が急速に進み、X が愛したときのような川の姿は、社会の発展とともに失われていったのです。



図2 1970年の隅田川の様子

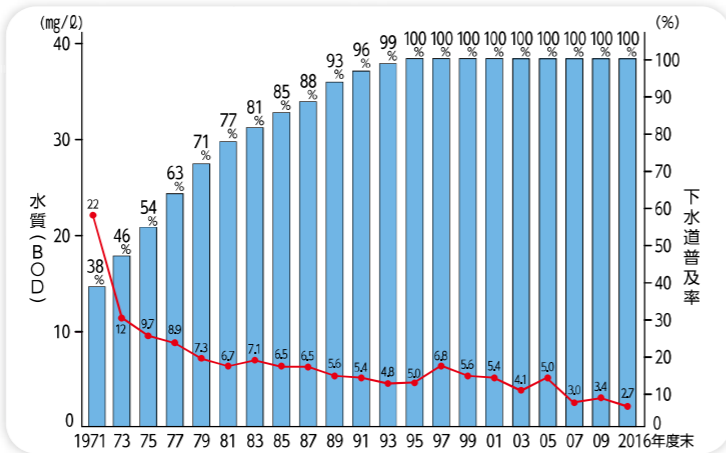


図3 隅田川の水質と下水道普及率

出典：東京都下水道局

学習した日

/

Q1 本文中の X に当てはまる作家の名前を、次のア～エから選んでみよう。

- ア. 森鷗外
- イ. 夏目漱石
- ウ. 芥川龍之介
- エ. 太宰治

Q2 『大川の水』の文中の傍線部の「驚異の眸」に込められている心情として最も適当なものを、次のア～エから選んでみよう。

- ア. 懐古
- イ. 感動
- ウ. 憎悪
- エ. 困惑

Q3 次の文は、水質汚濁を示す指標であるBODについて説明したものです。[]の中から適当なものを選び、○をつけてみよう。

BOD (Biochemical Oxygen Demand) は [ア. 生物化学的 イ. 数学的] 酸素要求量(消費量)のことであり、水中の有機物を分解するために微生物が必要とする酸素の量を示している。つまり、BODの数値が大きいほど有機物を分解するために消費した酸素量が [ア. 多い イ. 少ない] ことを示すので、水質汚濁が進んでいることになる。

Q4 図3のグラフをもとに、1971年から2016年の間に、隅田川の水質はどのように変化しているか、下水道普及率との関係に注目して考えてみよう。

まとめ が書いた河川の様子から、私たちは過去の環境の様子を感じとることができる。文学作品はその物語の中に、当時の様子が反映されることがあり、数値記録のない世界を知る資料として活用することもできる。

さらに 深めてみよう



興味のあるものを調べてみよう。

- 永井荷風『向島』
- 三尺流れれば水清し
- パックテスト
- 自然浄化
- エルンスト・ベルンハイム『歴史とは何ぞや』
- 水質汚濁防止法
- 富栄養化
- エコクリティシズム

ここでの学習に関連する動画



Lesson2 各Partでは他教科に関連する

Part① 「貧者のパン」が変えた世界

◆私たちはこれからの食料問題をどのように乗り越えていったらよいのか、考えてみよう。



図1 フリードリヒ大王 (在位1740~1786)



図2 フリードリヒ大王の墓地

図1の人物は、18世紀のプロイセン王国(現在のドイツ)のフリードリヒ大王です。彼は、戦争による農地の荒廃がもたらした飢餓の解決策として1756年に「X」令をこれにより、栄養価が高く、寒冷でやせた土地でも生育する「X」プロイセン王国は飢餓を乗り越えることができました。このような歴もドイツ料理には「X」がよく使われています。そしてフリードリヒがたえるように、彼の墓には、今でも「X」が供えられています。

POINT

なぜ「じゃがいも」だったのか? 「科学的根拠」をもとに理解を深めます。

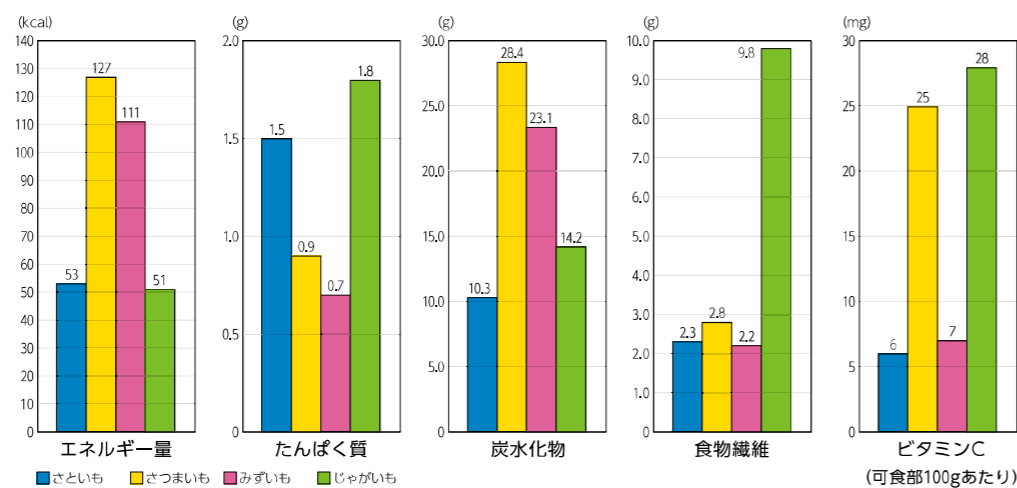


図3 栄養価の比較

出典：日本食品標準成分表2020年版(八訂)

興味・関心から学習を進めます。

学習した日

Q1 本文中の「X」に当てはまるものとして最も適当なものを、次のア～エから選んでみよう。

- ア. さといも
- イ. さつまいも
- ウ. みずいも
- エ. じゃがいも

Q2 図3をもとに、「X」(可食部100gあたり)のエネルギー量、たんぱく質、ビタミンCについて単位を含めて書いてみよう。

エネルギー量：..... () 単位
たんぱく質：..... ()
ビタミンC：..... ()

Q3 「X」は産業革命の時代に「貧者のパン」と呼ばれました。その理由として最も適当なものを、次のア～エから1つ選んでみよう。

- ア. この食べ物は肥沃な土地で育ち、貧しい人々にとってはごちそう
- イ. この食べ物はやせた土地でも育ち、貧しい人々の主食になった
- ウ. この食べ物はやせた土地でも育ち、パンのような味がするから
- エ. この食べ物は肥沃な土地で育ち、栄養価が低く、貧しい人々の

POINT

歴史上の人物の取り組みを取り上げ、「現代に生きるわたしたちにできること」を考えます。

Q4 フリードリヒ大王は「X」令によって、飢餓の解決を図りました。私たちは現代の食料難を、どのように解決できるのか、その方法を考えてみよう。

まとめ 18世紀、食料難に苦しめられたドイツでは、栄養価が高い.....を栽培することによって飢餓を乗り越えた。

さらに深めてみよう



興味のあるものを調べてみよう。

- 啓蒙専制主義
- 急性食料不安
- 遺伝子組換え食品
- 昆虫食
- 気候変動リスク
- 国際イモ年
- ジャガイモ飢饉

マリー・アントワネット

ここでの学習に関連する動画



Lesson2

「オンライン授業」など身近な話

Part 1 理想の暮らしを求めて

◆過去の取り組みを参考に、これからの理想の暮らしについて考えてみよう。



POINT
「理想の暮らし」をテーマとし、過去の取り組みや今日の暮らしの工夫について考えます。

では、工業化が進んだことにより、「カントリー (country)」で農業に従事していた人々が新しい職を求めて、ロンドンなどの「タウン (town)」に移住しました。その結果、「タウン」では居住環境の悪化や労働問題、空気汚染などのさまざまな問題が生じました。社会改良家のエベネザー・ハワードは、それぞれの魅力を取り入れた「タウン・カントリー」という理想の町をロンドン郊外のレッチワース (図1) に作ることで、そのような問題の解決を試みました。

このように、人々はより良い暮らしを求めてさまざまな工夫をしてきました。今日ではデジタル技術の発達により、遠隔授業やテレワーク、ワーケーション (図3) などが導入されて、ライフスタイルに新たな選択肢が生まれています。

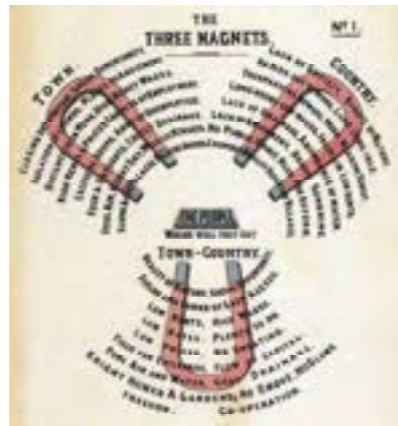


図2 ハワードが考えたタウン、カントリー、タウン・カントリーの魅力



図3 ワーケーションの様子

題にふれながら学習できます。

学習した日

/

Q1 「テレワーク」の「テレ (tele-)」の意味として最も適当なものを、次のア～エから選んでみよう。

- ア. 遠距離の イ. 同時の ウ. 仕事の エ. 家の

Q2 18世紀にハワードがまとめた「タウン」と「カントリー」の特徴について、英語と日本語の組み合わせとして正しいものを線で結んでみよう。また、図2や太字を参考にしながら、(1)から(6)を「タウンの特徴」と「カントリーの特徴」に分類して数字で答えよう。

- | | | | |
|----------------------------------|---|---|----------|
| (1) "Foul Air " | ・ | ・ | 仕事場からの距離 |
| (2) "Beauty of Nature " | ・ | ・ | 高い賃金 |
| (3) "Abundance of Water " | ・ | ・ | 汚い空気 |
| (4) "High Money Wages " | ・ | ・ | 自然の美しさ |
| (5) "Distance from Work " | ・ | ・ | 豊富な水 |
| (6) "Lack of Amusement " | ・ | ・ | 娯楽の欠如 |

タウンの特徴
() () ()
カントリーの特徴
() () ()

Q3 学校に通って皆で授業を受けることと比較して、家など学校以外の場所で授業に参加すること (オンライン授業など) にはどのようなメリットとデメリットがあるのか、考えてみよう。

メリット :
デメリット :

Q4 あなたは将来、どのような暮らしを実現したいですか。理想の暮らしを具体的に想像してみよう。

.....
.....

POINT
「学校に通って学ぶこと」と「オンライン授業などで学ぶこと」のメリット、デメリットを考えることを通じて、将来の自分自身の暮らし方について考えます。

まとめ 社会改良家のエベネザー・ハワードは、「..... (.....)」の魅力と、「..... (.....)」の魅力の両方が組み合わせられた町「タウン・カントリー」を作り上げた。今日では、デジタル技術の発達により、居住環境の選び方や働き方に新たな選択肢が生まれている。

さらに 深めてみよう

興味のあるものを調べてみよう。

- 環境アセスメント
- 都市計画
- シェアハウス
- マルチハブ機能
- 景観法
- 田園都市
- アーバンビレッジ
- 社会実験

ここでの学習に関連する動画

4つのSTEPに取り組み、

Lesson 3

◆次のSTEP1~5を通して「探究につながる問い」を作ってみよう。

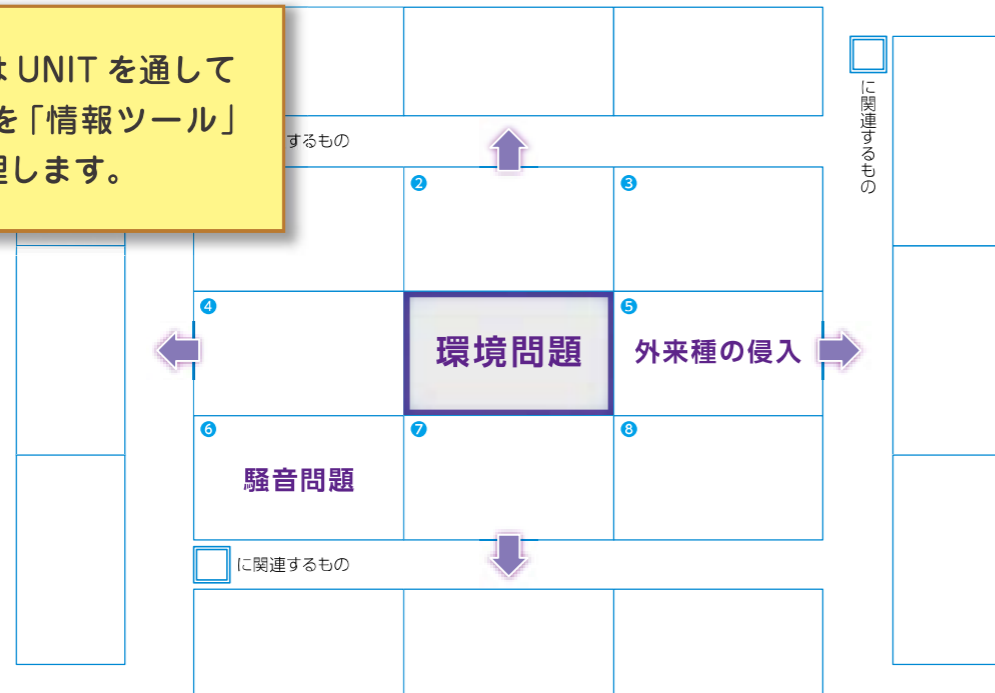
UNIT1では、自然と共生する社会を実現するためのヒントを学んだね。



STEP 1 UNIT1を通して学んだことをもとに、9マスブロックに取り組みよう(p.20)。自分が書いたキーワードの中から特に興味があるもの3つに丸をつけよう。

POINT

STEP 1ではUNITを通して学んだことを「情報ツール」を使って整理します。



STEP 2 **STEP 1**で丸をつけた3つのキーワードを書き出し、それについてさらに知りたいことを書いてみよう。それを疑問文の形に書き換えてみよう。

キーワード①	を知りたい。
	疑問文 ?
	を知りたい。
	疑問文 ?
	を知りたい。
	疑問文 ?

POINT

STEP 2では、「キーワード」をもとに、さらに深く知りたいことを文章化し、疑問点を明確にします。

質の高い「問い」をつくります。

STEP 3 **STEP 2**で書いた疑問文から、課題探究として取り組みたいことである問いに書き換えてみよう(p.12)。

探究につながる問い

チェックリスト

- テーマになっている社会問題の解決につながる。
- 興味関心を持って取り組むことができる。
- ぼんやりワードが含まれていない。
- 答えとの距離が適切である。

チェックリストの基準を満たしているか確認して、に✓をつけよう。



STEP 4 **STEP 3**で自分が書いた「探究につながる問い」を他の人と共有して、チェックリストの基準を満たしているか確認してもらおう。

チェック項目	名前			
テーマになっている社会問題の解決につながる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
興味関心を持って取り組むことができる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ぼんやりワードが含まれていない		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
答えとの距離が適切である		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

メモ (他の人の意見など)

POINT

STEP 4では、自分がつくった「探究につながる問い」をチェックし、「より良い問い」を完成させます。

STEP 5 **STEP 4**をふまえて、UNIT1の「探究につながる問い」を完成させよう。

探究につながる問い

「教師用指導資料」を準備 (PDF データ 配信方法未定)

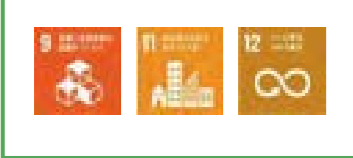
サポートは万全です。

UNIT 持続可能な生産・消費を実現するには？

教科横断的な視点

- 公共
- 家庭総合
- 生物基礎

SDGs との関連



1 プラスチック

分子量が約 1 万を超えるような物質を高次化合物という。高次化合物のうち、人工的に合成されるものを合成高次化合物といい、合成高次化合物のうち、熱や圧力を加えると成形・加工できるものをプラスチックと言います。

プラスチックは、炭化水素を骨格構造とするため、密度が小さくて軽く、薬品に侵されにくい。さらに、成形・加工が容易なことから、様々な用途で利用されています。

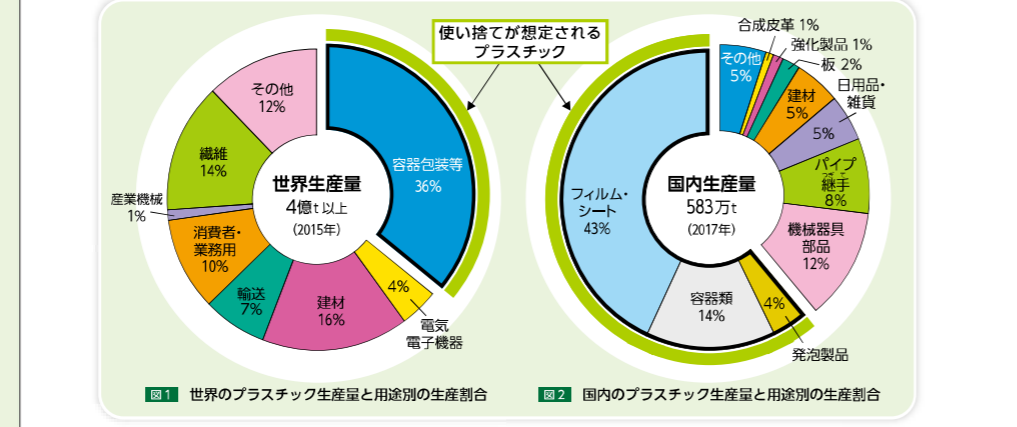
名称	用途
ポリエチレン (PE)	袋、容器、フィルム
ポリ塩化ビニル (PVC)	シート、管、板
ポリスチレン (PS)	透明容器、日用品、断熱材

2 レジ袋の有料化

2018 年 6 月に UNEP (国連環境計画) が発表した報告書「シングルユースプラスチック」によると、日本のプラスチックごみ廃棄量は、一人あたり 32 キログラムに相当するとされています。これはアメリカに次いで世界で 2 番目に多い量とされています。プラスチック使用量の削減は、国際的に取り組むべき課題として認識されています。そこで、2020 年「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」に基づいて、レジ袋の有料化が義務となりました。世界では既に 60 カ国以上が、レジ袋に対して使用禁止や有料化などの規制を設け、レジ袋の削減に取り組んでいます。

Lesson 1

下の資料と文章をもとに、Q1～Q5を考えてみよう。



出典：WWF ジャパンウェブサイト (https://www.wwf.or.jp)

私たちは豊かな暮らしのために生産と消費の拡大を続けてきました。生産と消費の拡大によって、資源の枯渇や廃棄物による環境汚染が引き起こされています。これからも地球と共存し続けるためには、生産者はもちろん、消費者である私たちも行動を変えていく必要があります。

消費者である私たちの行動を変える例として、プラスチック製品の使用削減が挙げられます。プラスチックは手軽で耐久性に優れ、安価に生産できることから、ビニール袋や発泡スチロールの包装などに幅広く使われています。一方、このままのペースでプラスチックを使用し続けると、原料である石油の消費を早める可能性があります。また、利用されたプラスチックが適切に処理されず、自然環境に流出してしまう例も少なくありません。

プラスチックの使用削減のために、レジ袋の有料化やリサイクルの仕組みの構築など、さまざまな取り組みが進められています。



レジ袋有料化のスタートを伝えるパネル



紙ストロー

- 知識・技能**
大量生産・消費社会の現状をデータから読み取り課題を理解する。
- 思考・判断・表現**
持続可能な生産・消費の課題に対する「問い」を作ることができる。
- 主体的に学習に取り組む態度**
自分の興味・関心に基づいて持続可能な生産・消費について考えることができる。

学習した日

Q1 図1と図2についてまとめてみよう。

知 図1 2015 年における **世界** のプラスチック生産量 **4 億** t 以上の用途別の生産割合を示すもの

知 図2 2017 年における **国内** のプラスチック生産量 **583 万** t の用途別の生産割合を示すもの

Q2 図1をもとに、世界では年間およそ何 t のプラスチックが「容器包装等」として生産されているのか、世界生産量を4億 t として計算してみよう。

$4 \text{ 億 t} \times (36 / 100) = 1 \text{ 億 } 4400 \text{ 万 t}$

Q3 図2をもとに、日本国内で「使い捨てが想定される」プラスチックは年間何 t 生産されているのか、計算してみよう。

$583 \text{ 万 t} \times (43.1 / 100) = 251 \text{ 万 } 2730 \text{ t}$

Q4 身の回りのプラスチックでできたものを書き出してみよう。

- 思 消しゴム・定規・ボールペン
スマートフォン・コンタクトレンズ
ペットボトル・菓子の包装・テニスのラケット

Q5 消費者としてプラスチックの使い捨てを減らすために、どのような取り組みができるのか、考えてみよう。

- 主 【自分の意見】
- ・食品の保存はふた付き容器を使い、ラップの使用を減らす
 - ・マイボトル・マイスプーンを持参し、使い捨て容器の使用を減らす。

- 主 【他の人の意見】
- ・詰め替え用ボトルなど繰り返し使えるものを選ぶ
 - ・買い物の際にはマイバックを利用する
 - ・スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす

中央の教材紙面に解答を赤字で示し、周辺には指導に役立つ情報を掲載します。

3 生産・消費

参考資料
「暮らしの中のいろいろなプラスチック」
(日本プラスチック工業連盟)
http://www.jpif.gr.jp/00plastics/conts/iroirona_plastics.pdf

参考資料
「プラスチックゴミを減らすために私たちにできること」
(環境保全茨城県会議事務局)
<https://www.ecodane.jp/plastics-smart/3r.html>

- 知識・技能**
大量生産・大量消費社会の現状と課題を理解している。
- 思考・判断・表現**
持続可能な生産・消費を実現するための取り組みに具体例を参考に、解決に向けた「探究につながる問い」を作ることができる。
- 主体的に学習に取り組む態度**
自分の興味・関心に基づいて、持続可能な生産・消費を実現するための取り組みを考えることができる。